



2025年3月25日

各 位

会社名 株式会社オリジン
代表者名 代表取締役社長 CEO 稲葉 英樹
(コード：6513 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務執行役員 CFO 経営企画本部
副本部長 経理グループ長 赤松 敦
(TEL 048-755-9242)

棚卸資産評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期通期において、棚卸資産評価損を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、上記及び最近の業績動向を踏まえ、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損の計上

メカトロニクス事業において、ギ酸還元真空リフロー炉(VSM)のメイン市場である中国向け市況の急減速を受けたことにより、保有する棚卸資産について収益性を見直し、また、その他(半導体デバイス事業)において、子会社北海道オリジン(株)における半導体製品を2026年3月期第3四半期に一部の特殊品(車載)を除き生産終了予定であるため、棚卸資産の評価損として約4億7千万円を売上原価へ計上する見込みであります。

2. 業績予想の修正

(1) 修正の内容

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,000	350	700	200	35.66
今回修正予想(B)	29,000	△ 300	130	△ 430	△ 79.59
増減額(B-A)	△ 1,000	△ 650	△ 570	△ 630	—
増減率(%)	△ 3.3	—	△ 81.4	—	—
(ご参考) 前期実績(2024年3月期)	28,205	△ 583	42	△ 1,468	△ 255.11

(2) 修正の理由

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、メカトロニクス事業においてギ酸還元真空リフロー炉(VSM)のメイン市場である中国向け市況の急減速を受けたことにより想定していた売り上げに至らず、売上高は前回発表予想を下回る見通しとなりました。

損益面につきましても、売上高の減少に伴い固定費の回収が進まず、また、上記1項「棚卸資産評価損の計上」に記載のとおり、棚卸資産評価損として約4億7千万円を売上原価へ計上する予定であることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も前回発表予想を下回る見通しとなりました。

今後につきましては、メカトロニクス事業における製品群の見直しや、拠点の整理等の検討を進めることで構造改革を加速するとともに、コンポーネント事業を中心とした全社規模での成長分野へのリソース集中を継続し、収益の改善に取り組めます。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上